

ODA

第 144 号

2020 発行
1月

おしゆりん

◎特集

カバー！ストーリー！：牧志努さん

2p

年始のごあいさつ・二〇二〇沖脊協新春交流会

3p

調べてみました

脊損者における日常生活用具給付対象一覧

4p

全国障害者スポーツ大会における新聞報道の件について

5p

会員投稿

大城昌彦さん

6p

せき損セミナー

7p

脊損NEWS

8p

お知らせ

移動と交通のゆんたく会議
赤い羽根共同募金助成/サンシャインゆいまる

8p

編集後記

8p

NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL.098-961-6715/FAX.098-961-6716
 〒901-2121 沖縄県浦添市内間5丁目4番3号 ハウジングシーサー101号
 E-mail office@okisekikyo.com
 ホームページ http://okisekikyo.com/
 facebook https://fb.com/okisekikyo Skype ID:okisekikyo

COVER STORY

牧志 努さん



最近、缶バッジ・マグネット作りと販売を始めた牧志努さん。少しずつ売れ始め、今では

外国の観光客にも売れているようだ。

缶バッジ制作に至った経緯などを聞いてみました。

—缶バッジを製作した経緯を教えてください。

移動支援で利用しているヘルパーステーションコミットの地域活動支援事業の中で、利用者みんなで会議をして缶バッジの製作・販売をしようということになりました。

缶バッジのアイデアは、私がクリスチャンであることから始まっています。クリスチャンの人はよく「イクトウス」という魚のマークのアクセサリやステッカーを持っていて、これなら世界中のクリスチャンが知っているので外国人にも売れるだろうと思ったわけです。缶バッジを売る場所がちょうど国際通り沿いにあるので観光客の目にも触れやすいですし。現在は首里城や空手・三線のイラストなどを加えて観光客向けにバリエーションも増やしています。

缶バッジ製作はコミットの事業主つながりのあるDIYショップ「SHAKE HAND (シェイクハンド)」のスタッフさんのサポートの元、缶バッジプレス機を借りて月2回ほど、約2時間かけて行っています。私は受発注や在庫管理をパソコンを使ってExcelですべて管理しています。最近は口コミで広まったこともあって受注が増え、月2回では間に合わないの、本来は

有料であるプレス機をSHAKE HANDさんのご厚意で無料でお借りし、「追加製作」を行っている状態です。

—缶バッジ作りで楽しいことは？

自分がデザインしたものが目の前でお客さんに喜ばれ、買っていただくことがとても新鮮でやりがいを感じます。



—会員の皆さんに向けて伝えたいことは？

今充実しているこの時は、「外に出て何かをしないといけない」という思いから始まりました。

私は無職で、毎週行っていたバスケの練習も辞めると自宅に籠もりがちになり、精神的にも辛くなる事が多くなります。何かしら「外へ出るための目的」を作ることが大事だと思いました。

ただ、中には「目的なんか無い、障がいが重くて外にも出られない」という方もいるでしょう。そういう方は移動支援を利用して週一回、月一回の夕食をすることから始めてみてはどうでしょうか？人は誰でも腹を空かせますので、「食べる」という目的を外出に利用してみるところからスタートするのです。

—貴重なお話ありがとうございました。

このバッジはマグネットタイプもあります。すべて1個税込150円で、欲しい方はメールかfacebook(牧志努)へメッセージを送ってください。

メールアドレス：makishi4225@nirai.ne.jp

2月22～23日に行われる「なはさくらまつり2020」に出店・販売するので、ぜひ買って下さいね！



民間車検場(沖指第590号)/(株)ミクニライフ&オート総合代理店

ニッシン自動車工業沖縄

身体障がい者用自動車運転装置・福祉車両製作・販売・レンタカー・車検・一般修理・板金塗装

TEL: (098) 958-6556
FAX: (098) 958-6522

〒904-0302 沖縄県中頭郡読谷村喜名 219
E-mail: info@nissin-okinawa.info

代表 山城 貞二

年始のごあいさつ



2020鼠年おめでとうございます。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

新年のご挨拶をさせていただきます。

昨年は「沖縄県における脊髄損傷者の生活状況調査」を10年ぶりに実施いたしました。3月末に調査報告書を発行する予定です。ご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

さて、今年はNPO法人沖縄県脊髄損傷者協会結成35周年と就労支援事業所「障がい者ITサポート」開設5周年という節目にあたります。

これまで、多くの先輩方のご尽力のうで今日の活動が築かれてまいりました。今年も会員一同の協働による会運営になるよう頑張る所存です。

今年も会員・ご家族の皆様のご健康とご活躍を祈りご挨拶とさせていただきます。

NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会理事長
障がい者ITサポートおきなわ所長

仲根 建作

2020 沖脊協新春交流会



1月18日(土)「アイランドグリル那覇」にて新年交流会を開催しました。



アイランドグリル那覇店は車いす対応トイレが施設内に2か所もあり、駐車もし易いバリアフリーなレストランでした。肉、デザートも豊

富なビッフェ式で参加費を破格の500円!。アルコール飲み放題も1,000円として参加し易いようにし38名が参加してくれました。



芸ネタは相変わらず少ないプログラムでしたが、新人メンバーをベテラン会員が囲んで早速ピアサポートするなど楽しい交流となりました。





調べてみました 脊損者における日常生活用具給付対象一覧

「日常生活用具給付等事業」は脊損にとって必要な制度ですが、どんな用具があるかわからないという声があり、活用しきれていないようです。脊損関連を抜粋した一覧を参照してください。



日常生活用具給付等事業 (脊損関連のみを抜粋しました)

種目	対象者	耐用年数	基準額
介護訓練支援用具			
特殊寝台	下肢又は体幹機能障害2級以上(介助を要する者に限る。)	8年	154,000円
体位変換器	又は寝たきりの状態にある難病患者等	5年	15,000円
移動用リフト	下肢又は体幹機能障害2級以上(介助を要する者に限る。) 又は下肢又は体幹機能に障害のある難病患者等	4年	159,000円
入浴担架	下肢又は体幹機能障害1級(介護を要する者に限る。)	5年	82,400円
特殊マット	下肢又は体幹機能障害1級(介護を要する者に限る。) 又は寝たきりの状態にある難病患者等	5年	19,600円
特殊尿器	下肢又は体幹機能障害1級(介護を要する者に限る。) 又は自力で排尿できない難病患者等	5年	67,000円
訓練いす(児のみ)	下肢又は体幹機能障害2級以上(原則3歳以上の者)	5年	33,100円
訓練用ベッド(児のみ)	下肢又は体幹機能障害2級以上(原則3歳以上の者) 又は下肢又は体幹機能に障害のある難病患者等	8年	159,200円
自立生活支援用具			
入浴補助具	下肢又は体幹機能障害又は入浴に介助を要する難病患者等	8年	90,000円
便器	下肢又は体幹機能障害2級以上又は常時介助を要する難病患者等	8年	4,450円
便器(手すりをつけた場合)			5,400円
T字状・棒状のつえ	平衡機能又は下肢もしくは体幹機能障害	3年	3,000円
杖(杖頭、手杖、スロップ、折杖)	平衡機能又は下肢もしくは体幹機能障害又は下肢が不自由な難病患者等	8年	60,000円
特殊便器	上肢障害2級以上又は上肢機能に障害のある難病患者等	8年	151,200円
火災警報器	障害種別に関わらず火災発生の感知・非難が困難な障害者(単身及びこれに準ずる世帯)	8年	15,500円
自動消火器	障害種別に関わらず火災発生の感知・非難が困難な障害者又は難病患者等(単身及びこれに準ずる世帯)	8年	28,700円
電磁調理器		6年	41,000円
歩行時間延長信号機用小型送信機	視覚障害2級以上(電磁調理器は盲人世帯及びこれに準ずる世帯)	10年	7,000円
浴槽(設置工事等を伴わない簡易浴槽)	下肢又は体幹機能障害2級以上	8年	58,300円
在宅療養等支援用具			
透析液加温器	腹膜透析を行う者	5年	51,500円
ネブライザー(吸入器)	呼吸器障害3級以上又は同程度の障害を有する者又は呼吸器機能に障害のある難病患者等	5年	36,000円
電気式たん吸引器		5年	56,400円
酸素ボンベ運搬車	在宅酸素療法者	10年	17,000円
パルスオキシメーター(動脈血酸素飽和度測定)	人工呼吸器の装着が必要な身体障害者又は難病患者等	5年	157,500円
情報意思疎通支援用具			
携帯用会話補助装置	音声言語機能障害又は肢体不自由者であって発音発語に著しい障害を有する者	5年	98,800円
情報・通信支援用具※1	上肢障害又は視覚障害者	6年	100,000円
排泄管理支援用具			
紙おむつ等	ストーマ造設者、高度の排便機能障害者、高度の排尿機能障害者、脳原性運動機能障害かつ意思疎通表示困難者(原則3歳以上の者、医師の診断書等により確認のとれるもの)	—	12,360円
ストーマ用装具等(蓄尿袋)	高度の排尿機能障害者		11,639円
ストーマ用装具等(蓄便袋)	ストーマ造設者		8,858円
収尿器	高度の排尿障害者		1年
住宅改修費			
居宅生活動作補助用具	下肢、体幹機能障害又は乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能(移動機能障害に限る。)を有する者であって障害等級3級以上の者(ただし、特殊便器への取替えをする場合は上肢障害2級以上の者)又は下肢又は体幹機能に障害のある難病患者等	—	200,000円

(備考) ※1 情報・通信支援用具とは、障害者向けパーソナルコンピューター周辺機器やアプリケーションソフトをいう。

※市町村によって対象としない品目がありますのでご注意ください。

全国障害者スポーツ大会における新聞報道の件について

全国障害者スポーツ大会沖縄県選手団スタッフが台風19号の中、飲酒や長時間の外出を行ったということが問題だとして、同大会派遣事業を県から受託している県障がい者スポーツ協会の執行体制が問われている件について、同大会には派遣されていないのですが協会の副理事長として、経緯を検証する作業に追われ、先日、沖縄県障害福祉課に検証報告書を提出してきました。

新聞報道にあるように、現地(茨城)での災害被災対応にあたらなければならない時に団長(もう一人の副理事長)・事務局スタッフに不適正な行動・言動があったこと。また、派遣する選手や役員選出基準にも不透明で不公平感があったと報告しました。特に、これらの事業執行体制におけるガバナンスが不十分であったことから、去った12月23日に理事会を開き、理事長・副理事長の3名が引責辞任しました。痛恨の極みです。

振り返ると、北京パラリンピック日本代表に冲脊協会員から3名が選出され、応援するために「支援する会」を発足したところから、県内における障がい者スポーツ振興の組織化が必要という機運が高まりアクションしてきました。

冲脊協が呼びかけ役となり、「沖縄県障がい者ス

ポーツ協会設立に向けた検討会」を起こし、2009年～2010年の2年にわたり「沖縄県における障がい者スポーツ振興調査研究事業」に取り組み、協会設立に至った経緯があります。

立ち上げに精力を注ぎましたが、運営については単一の障がい団体が担うのは望ましくないと考え、運営は退き、1理事の立場で参画しておりました。設立当初から歯がゆい思いでおりました。この度の件でもっと関わればよかったと後悔の念。何れにせよガバナンスの不十分さは否めないことから引責辞任となりましたが、冲脊協からは新たに車いすバスケ・ラグビーの現任選手に理事をバトンタッチすることができましたので、今後は外から支援することができればと思っています。

今年の東京パラリンピックで沖縄での機運を高めないといけない時に、水を差してしまうことになったことにお詫びいたします。



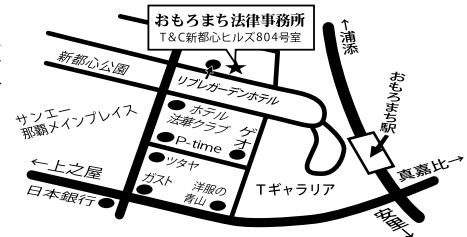
交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25T&C新都心ヒルズ804号室
弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】 ☎(098) 963-6268

※ ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。
移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。
相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など

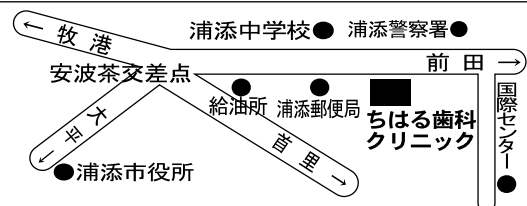
ちはる歯科クリニック CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。



大城 昌彦さん



今から約10年ほど前に左坐骨付近に褥瘡をつくり約1年と2カ月、宜野湾市内の病院に入退院。傷の大きさはポケット状になっており、中にこぶしが入るほどの大きさでした。

当時その病院は県内唯一の創傷ケアセンターを備える病院で、そこでいろいろな方法で治療を行いました。が治らず、いったん退院し通院で治療することに。その間体力も落ち、身体的にも精神的にもかなりのストレスを受け自宅で悶々とした生活を送り、このまま寝たきりになるのではないかと思うほどで精神的に苦しかったことを覚えています。

約2カ月の自宅療養を経て、思い切って南部にあるT病院の形成外科にセカンドオピニオン。最初の受診で手術を行えば塞ぐことができると自信満々のドクターの判断。思い切ってゆだねる決心をし手術を受けました。その術式はエタノール硬化療法という手術でこぶし大のポケットの中をデブリードマン(不良な肉げを除去しきれいにする)の後、傷口を縫合し中にエタノールを注入。エタノールで傷の中を火傷状態にし空洞をふさぐ手法。術後3週間のベッド上安静を経て少しずつ座る練習をし、術後約5週間目に退院しました。

退院後はもう二度と褥瘡は作らないと決心し生活面、仕事面ともに摂生し、仕事も週に3日程度、短時間の働き方にしました。

さて長い前文でしたが、ここから本題に入ります。先に書いたとおり長い入院生活でしたので体力を元に戻すのにかなりの時間が必要で、最近ようやく落ち着き傷のことも全く気にならなくなってきた矢先、ベッド上のシーツに浸出液が少し付いていて確認したところ、左でん部に米粒大の傷があるのを発見。長時間座ることもなく普段どおりの生活で傷を作る心当たりがなかったのでもともともショックでした。

とりあえず10年前にお世話になったT病院の外来を受診。当時の先生方はすでに退職し別の若いドク

ターが診察。しばらく様子を見ましようとするがすぐに終了。あまり説得力というかピンとこなかったのの後日家からも比較的近く、数名の仲間たちからの情報もある中城村のH病院の形成外科を受診しました。

結果は手術が必要とのこと。傷の大きさは綿棒の頭ぐらいで深さも1cmぐらいでしたが浸出液が多く、人によっては坐骨部付近に水がたまる空洞がある人がいるらしく、その空洞と繋がっているかもしれないということもあり手術を受けることに。

術式は皮弁形成術、左ももの皮膚を切り取り反転させ左坐骨部に移植する術式。10月4日に入院し、7日に手術を受けました。手術は無事終了しましたが、術後約1週間は熱が出てきつかったです。それからしばらくは寝たきり、ベッド上で寝たまま左右ゴロゴロ、食事も10年ぶりに寝たまま食べました。


病院は全館Wi-Fi完備、SNSをチェックしたり動画を見たりラジオを聴いたりで少しは気分転換できました。術後2週間でベッド上で少しづつ角度を変え座る練習、25日目で車椅子に移乗、徐々に座る時間を延ばしていききました。

そのころからは毎日行方傷口の処置も「病院でも自宅でも同じなので退院してもいいですよ」と言われていましたが、まだまだ傷口からの浸出液が多く、シーツも汚すのでしばらく様子を見て35日目で退院し、自宅で処置をしながら通院することにしました。もちろんその決断は日ごろから協力してもらっている家族の支えがあったからこそです。

現在でもまだ通院中ですが、特に日常生活での座る時間の制限もなく何とか傷と上手く付き合いながら仕事にも復帰し生活しています。

太ももの皮膚を移植しまだ座り慣れない新しいお尻の皮膚なので傷ができやすいだろうし、しばらくは不安です。体重も増えてきているし年齢に伴う皮膚の状態も気になるので気を付けたいと思います。

追伸：お正月に移植したばかりの新しい皮膚に傷を作ってしまった。今度ばかりは自力で治したいと思います。皆さんもお気をつけ下さい。



Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝1-10-28
TEL098-864-1100

安らぎ・癒し・元気を提供します。


診療スタッフ

院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00~ 6:00	○	○	○	○	○	○

- ▶ 身体機能訓練
- ▶ 身体能力訓練
- ▶ 言語訓練
- ▶ 摂食嚥下訓練
- ▶ 認知訓練



〒900-0003 那覇市安謝1-10-28
TEL098-864-1100

せき損セミナー in OKINAWA @中部徳洲会病院

2020年3月28日(土) 受付13:00 開会▶13:30 閉会▶16:30

せき損セミナー

講師

座長
西田 康太郎
琉球大学医学部整形外科教授

須田 浩太氏
北海道せき損センター副院長
「脊髄保護と脊髄再生の最前線
～脊髄保護と脊髄再生の話題も含めて～」

林 哲生氏
総合せき損センターリハビリテーション科部長

佐々木 貴之氏
総合せき損センターリハビリテーション科主任理学療法士
「ロボット支援によるリハビリテーション」

大濱 真氏
日本せきずい基金代表理事
「最新のコンチネンスケア医療デバイス」

土屋 健氏
日本せきずい基金理事
「せき損ピアサポートの取り組み」

対象者▶ 脊髄損傷医療に関心のある方

参加費▶ 1,000円 (資料代)

定員▶ 180名 ※定員に達し次第締め切ります

申込▶ 専用WEB申込フォームから
お申し込みください。

<https://forms.gle/eMBkV7QYAm6UjQxt6>



問合せ▶ 沖縄県脊髄損傷者協会

☎ 098-961-6715

✉ office@okisekikyo.com

in
OKINAWA

日時

2020年 **3月28日** 土

受付▶13:00 開会▶13:30 閉会▶16:30

会場

中部徳洲会病院 1階講義室

沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地

主催 / 琉球大学整形外科学講座

共催 / NPO法人日本せきずい基金 NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会

協力 / 沖縄徳洲会中部徳洲会病院



脊損関連 NEWS

交通事業者のバリアフリーサービス義務化 =改正法案提出へー国交省

2020.01.16 時事通信より

国土交通省は16日、障害者や高齢者らがスムーズに移動できるよう、公共交通事業者にバリアフリーに関する適切なサービス提供を義務付ける方針を固めた。車いす用のスロープ板などバリアフリー設備について、タクシーや乗り合いバス、鉄道などの事業者に取り扱いを習熟させ、障害者らが交通機関を利用しやすい環境を整える。通常国会にバリアフリー法改正案を提出する。

同日開かれた有識者や関係団体による検討会で方

向性を示し、大筋で了承を得た。バリアフリーをめぐってはハード面の整備が進む一方、ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの運転手がスロープ板設置に手間取るようなケースも相次いでおり、ソフト面の対応を強化する。

同省は、バリアフリー関連の取り組みが充実しているホテルやレストランなどを公表する認定制度も創設する方針。従業員に対する教育訓練の状況などをチェックし、一定の水準を満たした場合にホームページなどで公開することを検討している。その他、全国の公立小中学校にバリアフリー設備の設置を義務付ける方向だ。



障がい者と高齢者の移動困難を 考える地域円卓会議

高齢社会の中で、高齢者の自動車事故が社会問題となり、免許返納等の動きなど、高齢者等移動困難者が生きづらい状況があります。人は人々と出会い、交わり、つながり、地域生活を営んでいます。障がいや高齢により、移動することが困難になっている市民も、生まれた地域で普通に闊歩し、行きたいところへ行けるそんな街づくりが求められています。“移動する必要”を権利保障として施策化する公共交通の方向性を探ります。

■開催日時

2020年3月23日(月) 15:00~17:40

■開催場所

沖縄県立図書館 3Fホール

■テーマ

障がい者と高齢者の移動困難を考える地域円卓会議

■お申し込み

メールまたは電話にてお申し込み下さい

■お問い合わせ

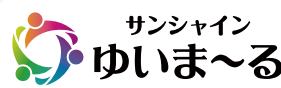
☎098-961-6715 (沖縄県脊髄損傷者協会)

メールアドレス: office@okisekikyo.com



赤い羽根共同募金会助成

今年度も赤い羽根共同募金から助成を受けました。毎年恒例の沖脊協のイベント「新年交流会」に加え、今年度はITサポートおきなわで活用する「障がい特性別の支援機器等」の購入に助成していただきました。毎年多くの助成をいただきまして感謝申し上げます。街で募金活動を見かけましたら、ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。



「サンシャインゆいま〜る 第6回 2019年後期クール」にて寄付金をいただきました。

今回は117,000円でした！厚く御礼申し上げます。地道に沖脊協へ投票いただいている仲間の皆さん、いつもありがとうございます。

編集後記

コロナウイルスの話題がメディアを賑わせるようになってきました。車いすの皆さんは手で直接タイヤを操作する方が多いため、よりウイルスに対するリスクが高くなりがちです。アルコール消毒等未然に防ぐ手段を！(砂川)

からだの痛み・悩みを 自宅で解消!



代表 林 秀一
TEL: 098-867-0006
FAX: 098-867-0008
〒900-0004
那覇市銘苅2-11-19
グローヴィーサイト新都心2F

琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。



0120-680-006

フリーダイヤル

mail info@ryukyu-chiryoin.com



http://www.ryukyu-chiryoin.com/